

須木地域協議会だより

須木地域協議会では、毎月1回、須木地区の事業に関することや、須木地区の活性化などを協議する「地域協議会」を開催しています。以下、3月27日（金）に行われた地域協議会の主な内容を紹介します。

- 3月27日（金）開催
- (1) 小林市地域活性化交付金の審議について（成果の検証）
- 4団体から実績報告書が提出され、それぞれ目的、事業効果ともに達成されているとの意見が出されました（永田地区やちえみろろ会・鳥田地区活性化委員会・内山ほぜ祭り実行委員会・竹ハシラカシ実行委員会）。
- (2) 平成27年度当初予算について
- 須木庁舎の平成27年度当初予算の内容について、各課長から説明されました。
- (3) 設置期間満了後の地域自治区について
- 岩元会長よりこれまでの経過が説明され、3月議会で須木地域自治区延長に関する請願書について採択されたことが報告されました。今後、地域協議会のなかで、具体的な延長期間等を協議し、市長に提出していくことになりました。

今後、須木地区の活性化のために協議を進めて参りますので、ご意見等がありましたら、須木庁舎地域振興課（TEL48-3130）までご連絡ください。

【すき商工会 経営指導員紹介】



氏名：酒匂 重彰（さこう しげあき）
出身：野尻地区

すき商工会 経営指導員

須木地区の皆様、こんにちは。4月1日付の人事異動で明石指導員に代わり、諸塚村商工会から赴任しました。一日も早く須木地区に溶け込めるように、勉強していきたいと思えます。聞きませぬ。「商工会は行きませぬ。聞きませぬ。提案します。～会員満足向上運動～」のすき商工会スローガンのもと、商工会員様のために経営改善普及事業はもとより、地域振興事業にも邁進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。お気軽に商工会まで来館ください。

橋面舗装補修工事に伴う片側交互通行のお知らせ

平成27年4月6日～6月29日の期間、国道265号線の奈佐木橋（県道奈佐木・高岡線入り口付近）及び白坂橋（奈佐木地区白坂バス停前付近）の補修工事が小林土木事務所発注にて実施され、工事期間中は片側交互通行になりますので、ご協力をお願いいたします。

屋間は警備員による誘導を行います。夜間については信号機により交通規制を行います。

今月に入り、須木地区内で3件の交通事故が発生しているそうです。

ドライバターの皆さんは、くれぐれも、スピードの出し過ぎや脇見運転等せず、交通安全を守りながら、車の運転に望むよう心がけてください。

須木学校給食センターの再活用について（募集）

平成27年度より、東方学校給食センターが新稼働したことにより、今まで、多くの子ども達を支えてくれた須木学校給食センターが閉鎖となり、須木庁舎地域振興課では、加工施設としての再活用方法ができないか検討しています。

幅広い活用ができるように、区内の加工グループ団体を中心に協議を進めています。が、区民の皆様からも、再活用のアイデア及び自分たちも施設活用してみたいという方を募集しています。

詳しいお問い合わせは、須木庁舎地域振興課までお願いします。（48-3130）

第10回小林市須木和牛共進会を開催（須木畜検査場）

平成27年度須木地区和牛共進会が4月3日（金）に須木畜検査場で開催されました。今回、参加した和牛の頭数は33頭で各地区の和牛生産者が、日頃から丹精込めて育てた自慢の和牛を出品し、審査に臨みました。この日の審査は、雌子牛、育成一類、育成二類の四部門に分かれて行われ和牛の資質や体型を主に審査が進められました。

下原純義さんの「ふさこ号」がグランプリに輝きました。

須木地区の和牛の里づくりに期待しています。



★グランプリチャンピオン 『ふさこ号』

「河野フーズ」販売所をオープン

4月から、河野フーズが永田地区の自宅を改装して、商品を直接購入できる販売所を設置しました。お店の次女、前原宏美さんが、河野フーズ代表河野泰雄さんを作る加工施設があり、それに併設する形で販売所をオープンしました。

昨年のみやぎよかもん市でも準グランプリ賞を受賞した「くりのままで」をはじめ、クレープ&ワッフルも購入することが出来ます。

前原さんは、須木物産協会会長の山田英一さんと協力し、須木の農産物を使用した新商品の開発も進めており、少しでも須木地区のPRをしていきたい。」と意気込みを話されました。



（自宅を改装して、販売所をオープン）

地域の安全・安心活動推進モデル地区に永田地区が選出



この事業は、宮崎県防犯協会連合会が県下12の各地区防犯協会（地域安全協会）と警察署が協議しモデル地区を指定します。

その指定されたモデル地区内の住民やボランティア団体が一丸となって、事件・事故の防止や少年非行防止活動などの様々な地域安全活動を実施し、地域の安全活動として、「安全で安心なまち」を築くことにより、他の地域への波及効果を期待して実施するものです。

本年度からの2年間は、県下26のモデル地区が決定され、その中で永田地区が選ばれました。

永田地区の河野区長は、「モデル地区として地域住民と知恵を出し合い、地域の安全活動に取り組んでいきたい。」と話されました。